



校長通信

No.11 令和2年8月7日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

6月の始業式から、2カ月と数日を経て、本日、無事、1学期の終業式を迎えることができました。その間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着用し、手洗いの励行、人との距離を取るなど、不自由な生活の中、子供たちは、新しいルールに対応して学校生活を送ってくれました。保護者の皆様、地域の方々には、河北中学校の取組に対し、ご理解・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。



さて、この1学期を思い起こしてみると、放送による始業式で、私は、全校生徒に残心という言葉の意味を説明し、何事も、途中で油断することなく、最後までしっかりと物事に取り組み、振り返ることの大切さを話しました。生徒は、授業が終了した際には、きちんと終わりの礼をしていましたし、下校の際は、きちんと挨拶をしてくれました。残心の大切さを理解し、実践してくれたように思います。

さて、明日から、夏休みです。9日間という本当に短い夏休みです。花火大会や夏祭りなど、夏の楽しいイベントも中止されています。そのような中でも、子供たちには、思い出に残る夏休みにしてほしいと思っています。1学期の復習をしながら、本をしっかり読むのもよし、美術館、博物館で芸術や歴史に触れるのもよし、家族でウォーキングもよし・・・色々工夫して、3密をさけながら、それから熱中症にも注意しながら、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。

ちなみに、私は、この休み中、英語の勉強をしっかりし、マスクを着用して剣道の稽古に励み、和歌山県内の2つの山を登る予定にしています。そしてリフレッシュして、2学期、元気に子供たちを迎えたいと思います。

《学校運営協議会を開催》

令和2年度第1回河北中学校学校運営協議会を7月28日（火）午前9時30分から河北中学校校長室で開催しました。学校運営協議会は、保護者、地域住民等の学校運営への参画並びに、保護者、地域住民等による学校運営への支援及び協力を促進し、学校と保護者、地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むことを目的として、設置されます。

学校運営協議会委員の役割は、校長の作成する学校運営の基本方針を協議し、承認すること。学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること。教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができることです。

本年度の学校運営協議会委員は、河北地区子どもを育てる協議会会長、湊地区連合自治会前会長、校区内の4小学校の校長、本校育友会会長、母親代表、前年度母親代表の方々に委任しています。

運営協議会で、まず最初に、今年度の学校運営基本方針案を説明した後、各クラスの授業を参観し、生徒の学習の様子や教室環境を見ていただきました。その後の協議では、学校運営基本方針の4つの柱、確かな学力の向上に向けた取組、豊かな心を育成するための取組、健やかな体を育成するための取組、地域とともにある学校の取組について、承認をいただきました。また、生徒の学習の様子から、様々な意見・感想をいただきました。教室に掲示している自己PRの自分の夢を書く欄に、「まだ考え中」と記入している生徒が少なくないと指摘を受けました。子供たちがしっかり自分の夢を語れるよう、まわりの大人も夢をもって、日々取り組んで行くことが大切だという話になりました。

学校運営協議会委員の皆様、ありがとうございました。